

平成26年度 第2回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：平成26年7月23日（水）13時30分～14時40分

場 所：尾道市役所5階 委員会室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 堂本委員長、今岡委員、高橋委員、豊田委員
事務局 戸成総務課長 岡庶務係長 小田原主任
公立大学法人尾道市立大学 中谷理事長、塩川理事、井上理事、灰谷教授
永田企画広報室長、土岸室長補佐

欠席者：宜名眞委員

報告事項：1 平成26年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

議 題：1 平成25年度業務実績評価について

2 意見書について

3 その他

【報告事項】

1 平成26年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

平成26年度第1回評価委員会議事要旨について、審議の結果、全員一致で原案どおり承認することとし、速やかに公開することとした。

【議 題】

1 平成25年度業務実績評価について

事務局から業務の実績に関する評価結果（案）について説明の後に、次の意見が出され、全会一致で承認された。

（委員） 大学の自己評価に当たっては、具体的な数値を盛り込み、成果を明確にすることで、平成27年度に行われる認証評価機関からの評価につながると思う。

年度計画を達成するために数値目標を下げることなく、目標を高く持ち、学生がどれだけ頑張っているかを市民に発信することを意識して取組んでいただきたい。

（大学） 各学部・各学科からは評価委員会の評価を念頭においた年度計画が提出されてきている。成果として見えにくいものもあるが、作業実績を残すよう取組みを進めている。

(委員) 平成27年度に行われる認証評価機関からの評価に向けて、大学内で組織を立ち上げ、取り組みを行っているのか。

(大学) 認証評価に向けた委員会を設置している。予定では、平成27年6月には教員から報告書を紙媒体で提出させ、審査、ヒアリングを行うこととしている。

第6 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(委員) 平成25年度は2期目であり、財務諸表において変化がみられる。市から大学への出資金は8億円程度であり、新校舎は補助金で建設されたものの、校舎の大半は市からの無償貸付となっている。これらが市から大学に出資された後には、財務諸表もまた変わってくると思われる。

財務内容の改善については、数値目標が年度計画に記載されていないことから、計画どおりに財務内容が改善されたのか評価しにくい。経費削減目標や、受託研究費の予算額を示し、評価しやすいように改善してほしい。

第9 その他業務運営に関する重要目標

(委員) 安全管理体制の整備の中で、大規模自然災害に対するリスク管理体制の把握手順を協議したとしているが、大規模とはどのくらいの規模を想定しているのか。

学生を含めた防災訓練を実施しているが、学生全員が参加したものか、一部の学生を対象に行ったものか。一部の学生が対象で行われたのであれば、全学生を対象とした、防災訓練の予定はあるのか。全員が参加することで、災害時の行動を把握することができ、経験することで災害時に対応できるようになる。

教員が率先して、本番を想定した防災訓練を行うことで、学生の意識が向上すると思う。

(大学) 大規模自然災害の規模の定義はないが、芸予地震以上の規模のものと考えている。また、自治体が想定している地震及び津波等の規模も考慮し、リスク管理体制を整備する必要があると考えている。

参加者は、授業の関係上2科目の学生の参加となっている。平成26年度は多くの学生が参加できるように検討している。

2 平成25年度財務諸表及び利益処分に関する意見につて

第1回評価委員会で審議された内容について、意見書として取りまとめたものを説明し、全会一致で承認された。

3 その他

なし